

本の森

8月号
August

丹波篠山市立中央図書館通信 No. 212 2023年 8月1日 発行

今月の特集

不思議

パート2

2023年の暑さを気象庁は「10年に1度のレベル」と予想しています。今年は人類の気象観測史上、最高の気温を記録する年になるのでは、という気候学者もいます。

盆地住まいの丹波篠山人にとってげんなりするようなニュースですが、ここは背筋を凍らせるという日本古来の方法で涼しくなってみましょう。2020年に続き、特集のテーマは「不思議」です。背後に注意しつつお読みください。

『逃げろツチノコ』

山本 素石 著 916ヤ 山と溪谷社



昭和34年、京都府加茂川上流に出かけた著者は、「それ」を目撃します。「それ」の姿は、頭と尻尾は蛇ですが、胴体は寸詰まりになっているという見たことも聞いたこともないものでした。

地元の老人などの話から、「ツチノコ」と断定。すっかり魅了された著者は捜索隊を結成しました。ツチノコ専用にと工夫をこらした罠をしかけるなどの遊び心たっぷりの活動は、田辺聖子の小説のモデルになったこともあって有名になっていきます。

しかしブームは予想外に過熱。山や野原が好奇心よりも金や名声のために網を持つ人間だらけになった結果、著者はどこかにいるはずのツチノコに呼びかけます。「(人間に見つからないよう) 逃げろ」と・・・。

日本中が熱狂した騒動の、知られざる一面を見ることができます。

(西澤)





マークデザイン
加藤昌男

文学の
棚から



『うるうの朝顔』 水庭れん 著 講談社 Fミズ

日本の夏の風物詩といえる朝顔ですが、朝顔の原産地は中国、熱帯アジア、中南米など諸説あるようです。本書の朝顔の種は海外で採取され、ポルトガル語で説明が書かれていたという不思議な種です。

主人公の凧は、大切な友人が不慮の事故で亡くなる直前に、この種を譲り受けました。土・鉢・水の代わりとなるものに種を植えて眠ると、花が咲きます。閉じるまでの間に、過去を追体験し1秒を挿入あるいは削除することで、現実の生きづらさのような「ズレ」を調整するというのが、この「うるうの朝顔」です。10粒あった種から4人の登場人物が花を咲かせ、種を渡した凧に報告にきます。人生のズレを戻しても、過去がなかったことにはならないように、咲かなかった6粒とその理由とは？この本は著者のデビュー作です。（栗田）

『平城京のごみ図鑑』

奈良文化財研究所監修 210.35 へ

本書には、平城京跡から発掘された「ごみ」から読み解いた1300年前の人々の生活が、写真やイラストとともに紹介されています。

遺跡の発掘調査では、壁画や当時の建物の柱の跡などの発見が注目されますが、発掘された物の中には落書きの書かれた木の板や魚の骨など、一見すると「ごみ」にしかみえないものも存在するようです。これらは一般的に、全く価値のないものと思われそうですが、考古学においては大切なお宝、過去からの貴重なタイムカプセルなのだそうです。また、私たちが日々生活している中で不必要なものは「ごみ」となってしましますが、視点を変えれば「ごみ」も「宝物」になるのだと本書では語られています。

当時の食事事情、流行していたゲームやおまじない、現代の私たちとの類似点や相違点を探しながら読んでみてはいかがでしょうか。（藤澤）

一般書の
棚から



こんなところに
丹波篠山

『海の稜線』 黒岡 博行 作 KADOKAWA BF クロ



「疫病神シリーズ」などで知られる作家、黒川博行の「海の稜線」。名神高速道路で起きた男女2人が乗った車の爆発事件に始まる複雑な謎に挑むのが、丹波篠山で生まれ育った大阪府警のベテラン刑事、総田脩（おさむ）です。

コンビを組む29歳の文田刑事は、東京からきた年下のキャリア上司、荻原とそりが合わず衝突を繰り返します。見かねた総田がたしなめると「大阪人のプライドを持って下さい。」と言われますが、すかさず「そんなもん、元からあるかい。わしゃ丹波の産じゃ。」と返します。

また、釣りに話が及んだ時は「子供の頃は毎日のように近くの川へ遊びに行った。イワナ、ハヤ、ヤマメ・・・よう釣れたな」と篠山を懐かしんでいます。（西澤）

Y onde M ite

よ ん で み て

『Y onde M ite』のコーナーでは利用者の方から寄せられたお薦めの一冊を掲載します

『102歳、一人暮らし。』
石井 哲代 著 Fイシ
2023.02 出版



物事は良いほうに考える、喜びの表現は大きくー。一人暮らしの著者が健康で長生きするための習慣や「うまいこと老いる」極意を紹介。人生の哲学ともいえる「名言」がいっぱい。元気が出ます！

ペンネーム たちあおい立葵

『七人怪談』
加門 七海 ほか著 Fシチ
2023.06 出版



ホラーの名手“三津田信三”が、著名なホラー作家に書き下ろしを依頼して完成した「ホラー短編集」です。この季節にぴったり。こわーいお話が好きな方にお薦めの一冊です。

ペンネーム カップのCu

『乗りかかった船』
瀧羽 麻子 著 Fタキ
2017.09 出版



舞台は創業 100 年を迎える造船会社。そこに勤める人たちの連作短編集です。元気がもらえるお仕事小説です。

ペンネーム ひまわり向日葵

『藩邸差配役日日控』
砂原 浩太郎 著 Fスナ
2023.04 出版



江戸藩邸のなんでも屋と擲揄される差配役・里村五郎兵衛のもとに日々、厄介事が持ち込まれる……。藤沢周平を思わせる文調で、静かに心を揺さぶられるような物語です。

ペンネーム YOU

『宵山万華鏡』
森見 登美彦 著 Fモリ
2009.07 出版



摩訶不思議な物語です。京都の祇園祭を舞台に独特のテンポで繰り広げられるお話は読後夏祭りの妖しさと切なさを感じられることと思います。

ペンネーム Noah

『「マスゴミ」って言うな!』
斎藤 貴男 著 070.21 サ
2023.04 出版





真実を報じず、権力者を擁護する空気を作って国民を欺くようなメディアでいいのか？メディアの役割を信じるジャーナリストの“辛口エール”集です。

ペンネーム 周五郎ヴァン


8月図書館カレンダー

～ 中央図書館行事一覧 ～

日	月	火	水	木	金	土
		1 休	2	3	4	5
6	7 休	8	9	10 図書館の日	11	12
13	14 休	15	16	17	18	19
20	21 休	22	23	24	25	26
27	28 休	29	30	31 休		



中央図書館主催行事

- ☆ 「夜のお話会」 視聴覚ホール
8/5 (土) 18:15～19:00 
- ☆ 「高校生の皆さんと楽しく工作」
視聴覚ホール
8/6 (日) 14:00～15:30
- ☆ 「丹波篠山だけ図書館の日」 全館終日
8/10 (木) 『図書館の夏祭り』

『あなたの願いは 何ですか?』

たなばたかざり 7/1(土)～8/6(日)


設置場所：正面玄関横・レンガ前



※飾られた短冊は8月吉日、市内の神社に奉納されます。

～ みなさまの願いが叶いますように ～

【 展示ホール 】

- ★ 「平和の本展示」 レンガ前
7/28 (金) ～ 8/10 (木)
- ★ 「図書館20年のあゆみ」
8/1 (火) ～ 8/31 (火) 
- ★ 「ファルマシスタ・カルテット 演奏会」
8/5 (土) 19:15 開演 ～ 20:00

【 視聴覚ホール 】

- ★ 「夏休み手話教室」 社会福祉課
8/5 (土)・8/19 (土) 10:00～11:30
- ★ 「大人のための朗読会」 くらまめいと
8/5 (土) 13:00～14:00
- ★ 「映画上映会」 シネマの会
8/16 (水) 13:00～15:30
- ★ 「夏のおはなし会」 ストリーテリングの会
8/26 (土) 14:00～15:30

「高校生の皆さんと楽しく工作」 しませんか

時 間：8月6日 (日) 14:00～15:30
場 所：中央図書館 視聴覚ホール
対 象：小学5年生以上 (小学生は保護者同伴) 25名
内 容：篠山産業高校の生徒さんが先生となってミニチュアフード (食品サンプル) のマグネットを作成します。
参加費：無料



【写真はイメージです】

※申込者多数の場合は抽選となります。ご了承ください。



ともだち追加
おねがいします

